

サイエンス・アゴラ 2012

パネル討論会

福島での活動経験から習うリスクコミュニケーション

開催日時：平成 24 年 11 月 10 日（土） 午後 12 時 30 分～午後 2 時 30 分

開催場所：産業技術総合研究所臨海副都心センター別館 11 階

多目的室／会議室 1 小間 No Bb603

開催形態：パネル討論会

主催者：日本放射線影響学会・福島原発事故対応委員会

参加申し込み：msm@rbnet.jp あるいは Fax:075-7568 へ氏名と所属をお送りください。

【開催趣旨】

福島原発事故後に明らかになった緊急時のリスクコミュニケーションの不都合点を様々な視点で洗い出し、その問題点を纏め、改善案を提案する切っ掛けとする。

【話題提供者】

司会：渡邊正己（京都大学 名誉教授）

1. 科学者の立場からの発言

田内広（茨城大学・理学部 教授）

2. 一般市民の立場からの発言

馬目与市（伊達市諏訪野町内会・安全防災役員）

3. ジャーナリストの立場からの発言

斗ヶ沢秀俊（毎日新聞 水と緑の地球環境本部 本部長）

4. 現場医師の立場からの発言

長谷川有史（福島県立医科大学・救急医療学講座 助教）

【パネル討論】：60 分間

福島におけるリスクコミュニケーションの失敗はなにが問題であったか？

【司会】

渡邊正己（京都大学名誉教授、放射線生物学研究センター）

【パネリスト】

1. 田内広（茨城大学・理学部・教授、日本放射線影響学会福島原発対応委員会委員長）
2. 馬目与市（伊達市・諏訪野地区・防災委員会委員長）
3. 斗ヶ沢秀俊（毎日新聞・水と緑の地球環境本部・本部長）
4. 長谷川有史（福島県立医科大学・救急医療学講座・助教）
5. 宇佐美徳子（高エネルギー加速器研究機構・講師、日本放射線影響学会 Q&A 対応委員）
6. 鬼沢良子（NPO 法人 持続可能な社会を作る元気ネット）